

4月19～24日、医療に加え介護分野の支援も求められ

組合第三次人的支援チーム5人決まる

全日本民医連は4月2日に開催した臨時理事会で新たなステージに対応した支援方針を決め、8日付で5月を展望した指示を出しました。今後は、地協ごとに要請された職種・人員数を県連で調整し送り出していきます。引き続き医療支援を行いながら、介護分野での支援も求められており、第三次の支援以降はこういった要請に応えるチーム編成となります。

4月19日から24日に予定している、組合からの第三次の人的支援のメンバーは下記のとおりです。13日には医療生協会館で結団式が行われ、二次支援の井上博和さんより現地の状況や支援内容、注意事項などの説明を受け決意を固めました。

5月支援計画として県連より要請されている人員

2日(月)～7日(土) 看護2・事務他1

14日(土)～19日(木) 看護2・介護1・事務他1

26日(木)～31日(火) 看護1・介護1・事務他1

第三次支援チームの5人 (敬称略)

志賀 雅子 (水島協同病院MSW)
井上 京子 (水島協同病院看護師)
松井 博 (玉島協同病院介護福祉士)
山本 鈴子 (健寿協同病院介護福祉士)
福田 広史 (労働組合理学療法士)

支援チームへの参加者を募集しています!

震度6の地震を体験、坂病院からのたより(メール)

感謝はこちらから 8・9日 井上博和サブリーダーより

昨夜、震度6の地震あり。大きな揺れ、壁の剥離、全館停電。5人無事。対策室に集合、トリアージ班の結成等テキパキとした指揮。5人はそれぞれ活躍、患者の移送などにあたる。本日も予定通り支援が行われています。今日の行動は地域訪問・炊事班に変更、課題は50人分の食事を電気なしで一度に作れるか?やりました。

大災害。来る前は何か出来ることはないか?その思いが強かった。来てみてそれは、驕りだったと。安否確認・足浴・炊飯・復興作業。

いつも『ありがとう』と言われ、気付かされたつながることの意味。連帯の大切さ、人間賛歌を教えてください。感謝はこちらから。



支援チームは帰りに被災地を回って帰ってきます

民医連と生協連に義援募金送金_引き続き募金にご協

義援募金が三百万を超えましたので一次分を送金。一層のご協力をお願いします。

東日本大震災募金集約4/13現在

水島協同病院	1,341,636
玉島協同病院	804,946
健寿協同病院	341,422
ふれあい診療所	170,448
南診療所	87,576
阿新診療所医科歯科	50,393
くらしき診療所	48,588
水島歯科診療所	148,221
真備歯科診療所	36,000
児島歯科診療所	55,890
くらしき歯科診療所	11,789
レインボー	20,300
DC亀島	7,803
介護事業部	36,725
健康事業部	264,344
総務部	349,000
労働組合	28,000
ケアハウスちどり	51,836
合計	3,854,917